

教材名：およげないりすさん

主題名：ともだちとなかよく【友情・信頼】低Bー(10)

実践のPOINT

- 評価を意識したワークシート(カード)の提示

1 ねらい

- りすを背中に乗せて島へ向かうかめたち3人の気持ちを考えることを通して、友だちの気持ちを考え、仲良く助け合っていこうとする心情を育てる。

2 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容についての教師の考え方

中心とする指導内容は、B「主として他の人とのかかわりに関すること」の(10)「友達と仲良くし、助け合う」である。人間は、互いに支え合い、助け合う中で社会生活を営んでいる。その基盤が、他者を理解し、認め、信頼し合える関係を築くことである。子どもたちは、学校という集団生活の場で、友達と助け合い、互いを認め合い、理解し合い信頼感や友情を育てている。よりよい対人関係の構築が未熟な1年生だからこそ、様々な生活や学習の場を通して、相手を思いやり友だちを大事にしようとする心情を育てることが大切である。低学年の段階の指導においては、積極的に行うべきよいこと、人間としてしてはならないことを正しく区別できる判断力を養うことが大切である。本資料により、友だちを大事にするということは、相手の立場や気持ちを思いやる大切だということに気付かせ、自らの行動を振り返らせた

(2) 児童生徒の実態と教師の願い

本学級の児童は、～中略～ そのため、1年生の段階から、仲良く過ごしたり協力したりすることの素晴らしさを感じさせながら、友達と仲良くしようとする心情を育てたい。

(3) 使用する資料の特質及び児童生徒の実態とかかわらせた指導の方策

本教材は、池のほとりで、白鳥・あひる・かめの3人が池の中の島で遊ぶ相談をしているところになりすが来て、「一緒に連れて行って」と頼むが、3人は「泳げないからだめ」と断り、島に行く。しかし、遊んでいてもりすのことが気になり全く楽しめない。そこで3人は話し合い、翌日、かめがりすを背中に乗せてみんなで島に行くという内容である。本資料は、友達と仲良く遊ぶことのよさや友だちのことを考えて助け合うことの大切さについて考えることのできる資料である。

友達の立場や気持ちをよく考える前に行動に移す姿が、本学級の児童の姿と重なることもあり、3人の気持ちの変化を中心に授業を構成した。中心発問では、島に向かう3人がどんなことを話していたかを話

し合わせることで、3人の気持ちの変化に気付かせたい。そして、「友達と仲良くするためには、どうすればいいか」についてカードに書くことで、自分の生活を振り返らせ、考えを深めさせたい。場面把握が難しかったり、発問の意味が十分に理解できなかったりするために、ねらいとする道徳的価値に迫る

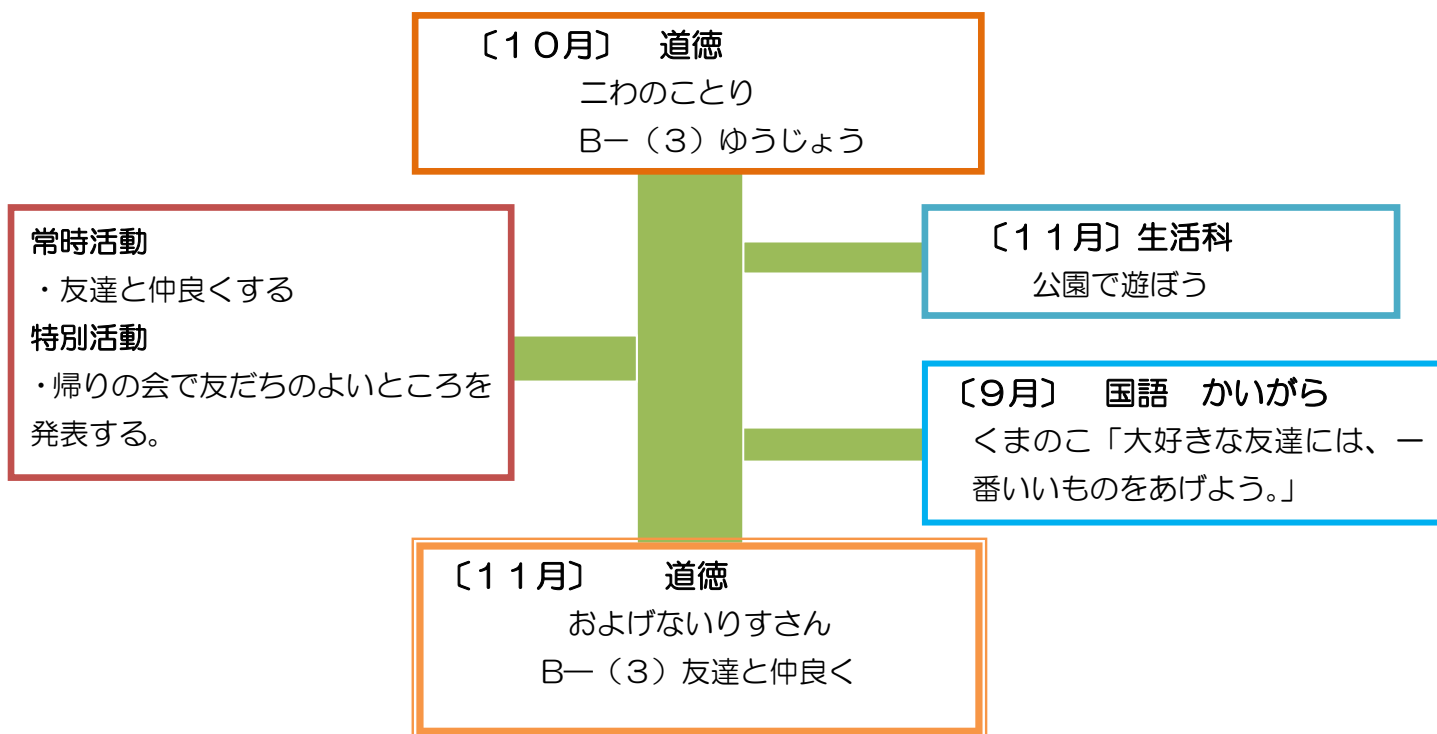
学習活動	主な発問(○)と予想される児童の反応(・) ◎中心発問	指導上の留意点
------	--------------------------------	---------

考えを持ってない児童や、自分の考えがまとまらず、なかなかワークシートに書けない児童がいることから、場面把握がしやすいように映像を使い、価値に迫るために多様な意見を出させる手立てとして指導案に補助発問を記述した。

今年度の本校の研究主題は、『自己の生き方をみつめる児童の育成～道徳科の研究を通して～』である。振り返りとして、「かめたちのように(仲良く)するために、どんなことをしたらいいか」をカードに書くことを通して、自分の今までの生活を振り返り、これからの自己の生き方をみつめるという研究主題へとつながっていくものとする。



他の教育活動との関連



導入	1 公園で遊ぶときの気持ちを想起する。	○ 遊具がいっぱいの公園に行くと、どんな気持ちになりますか。	・楽しく、うれしい気持ちを想起させる。
	<p>2 「およげないりすさん」を映像で見て話し合う。 (1) りすの申し出を断ったときの3人の気持ちを考える。</p> <p>(2) りすを置いて島で遊ぶ3人の気持ちを考える。</p> <p>(3) 仲良く島へ向かう3人とりすの気持ちを考える。</p> <p>3 自分の生活を振り返り、考えを深める。</p>	<p>○ かめさん3人は、どんな気持ちで「りすさんは、だめ。」と言ったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・りすさんは泳げないからね。 ・連れていけないよ。 ・泳げたらいいのにね。 <p>○ 池の中の島で遊んでいる3人は、どんなことを考えていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なんだか、楽しくない。 ・りすさんはどうしているかな。 ・りすさんもいたら楽しいのに。 ・りすさんにわるいことをしたなあ。 <p>◎ みんなで島に行くとき、かめさんたち3人は、どんな話をしたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなと行けてうれしいな。 ・やっぱりみんなで行った方が楽しいね。 ・次からも背中に乗せてあげるね。 <p>○ 友達と仲良くするために、あなたはどんなことをしたらいいと思いますか。(カード)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の気持ちをよく考えたい。 ・助け合って、仲良くしたい。 	<p>・りすだけが泳げないことをおさえる。</p> <p>補助発問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そのとき、りすさんはどんな気持ちだったでしょうね。 <p>補助発問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島には遊具がいっぱいなのに、少しも楽しくないのは、どうしてでしょう。 <p>・ペア→全体</p> <p>★友達と仲良く助け合うことのよさに気付いている。(発言)</p> <p>・役割演技で、かめたち3人やりすの気持ちを考え、共有させる。</p> <p>・これまでの自分のことについても考えさせる。</p> <p>★自分の友達へのかかわりを振り返り、友達と仲良くしようとしている。(カード)</p>
終末	4 映像を見る。 (曲：ピリープ)	○ 今日の学習のことを考えながら見ましょう。	・余韻をもって終わる。

○準備物 映像・さし絵・短冊・CD

4 評価

【価値についての理解】

友達と仲良く助け合うことのよさに気付いている。(発言)

【自分とのかかわり】

自分の友だちへの関わり方を振り返っている。(カード)

【発展的な捉え方】

友達と仲良くしようとしている。(カード)

板書計画

♡	♡	ともだちと	挿絵	「ぼくのせち	つぎの日	すこしもた	「りすさんは	およげな	こうえんは	④どうとく
---	---	-------	----	--------	------	-------	--------	------	-------	-------

- ・およげないとむり
- ・つれていけないよ
- ・おぼれてしまう

りす
いきたかったなあ

挿絵

- ・やっぱりみんなでくれば
- ・さみしいなあ

挿絵

- ・また、せなかにのればいいよ
- ・みんなでいったらたのしいね

